



CAD利用技術者試験
認定試験会場校

Microsoft
Office Specialist
Authorized Testing Center
試験実施会場校

いわきコンピュータ・カレッジ ICCかわう版

認定教育校
CG-ARTS協会



発行者 いわきコンピュータ・カレッジ保護者会 会長 林 順一
〒971-8185 いわき市泉町四丁目13-12 Tel:0246-56-0711 Fax:0246-56-0751
URL https://www.iwaki-cc.ac.jp E-mail info@iwaki-cc.ac.jp

No.27



保護者会会長
林 順一



第27期生の
みなんご卒業おめでとうございます。

の皆様心よりお祝い申し上げます。校長先生をはじめ諸先生方の温かいご指導、ご協力を頂きました関係者並びに地域の皆様大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

また、保護者の方々に対し先端機器について堂々と説明をしている姿は頗もしく感じました。また、文化祭では、仲間達と協力し、来て頂いた方が楽しめる様にと趣向を凝らし大変楽しかったと思います。

これから社会に出て、いろいろな経験をする事になると思います。大変な事や苦しい事、一人ではどうしようもない事もたくさんあると思いますが、家族、友人、同僚と様々な方が相談にのってくれるから大丈夫です。何事も前向きにとらえて、本校で今まで学んだ事や技術を活かし、いろんな事にチャレンジをし、目標を持って社会生活を送って下さい。

最後になりますが、本校の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。



T-ICT
産業協議会
(T-ICT)
は、「いわき地区のICT

産業全体の発展」「ICT人財の育成及び雇用の創出」「情報産業強化によるいわきの発展」を目的に、平成30年6月26日に設立致しました。現在いわき市内17の企業、団体が参加しております。

我々T-ICTは仲間とともに研鑽を行なながらビジネスチャンス

を拡大し、地元企業による雇用と

いう形でこの地で定着して活躍す

る高度なICT人財を増やしたい

と思っております。そして当地域において可能なICT人財が増え

ることは、いわき市・浜通りの全産業の企業競争力が高まることを

意めています。

意味し、新時代のいわき市・浜通

が復興創生の鍵と言えるかと思

います。

ます。

したがいまして、ICT人財の

育成につきましては、平成3年厚

生省による創立以来、地元産業と

行政の協力の下で運営され、本地

域唯一の公的コンピュータ専門学

校として数多くのICT人財を

輩出でこられた、いわきコン

ピュータ・カレッジ(ICC)

と、魅力ある職

場の確保など雇

用対策を一体的に推し進めるど

もに、将来の次世代エネルギー社

会を見据え、風力をはじめ、バイ

オマス、水素などの次世代エネル

ギーの利活用促進や、関連産業の

集積などに取り組んでおります。

これらの取組みが実を結ぶため

には、あらゆる産業に浸透してい

る情報処理技術に精通した若い人

材が必要不可欠であります。

そのため、本校で知識と技術を

習得された皆様には、これらの

地域を担う貴重な人材として、自

信と向上心を持つて大いに活躍さ

れることがあります。

結びに、晴れの門出にあたり、

人々は、いつまでも第一線で活

躍できるのだそうです。卒業

式典後に各実習室へ案内し、新

ロボット「NAO」も自己紹介を

行って近く、今後連携とご協力を強

めてくことを期待しております。

ICCで学ぶ学生の皆さん、

地域社会の橋渡し役を務め、ビジネ

スはもちろん市民として様々な地

域の課題解決の場で大いに活躍し

てくれる事を期待しております。

式典後に各実習室へ案内し、新

ロボット「NAO」も自己紹介を

行って近く、今後連携とご協力を強

めてくことを期待しております。

ICCで学ぶ学生の皆さん、

地域社会の橋渡し役を務め、ビジネ

スはもちろん市民として様々な地

域の課題解決の場で大いに活躍し

てくれる事を期待しております。

式典後に各実習室へ案内し、新

ロボット「NAO」も自己紹介を

行って近く、今後連携とご協力を強

めてくことを期待しております。

ICCで学ぶ学生の皆さん、

地域社会の橋渡し役を務め、ビジネ

スはもちろん市民として様々な地

域の課題解決の場で大いに活躍し

てくれる事を期待しております。

式典後に各実習室へ案内し、新

ロボット「NAO」も自己紹介を

行って近く、今後連携とご協力を強

めてくことを期待しております。

式典後に各実習室へ案内し、新

平成30年度 卒業研究発表会

カレッジ生活二年間の集大成である卒業研究の発表会は、企業の方や高校の先生、保護者など合わせて45名に出席いたしました。発表したのは、

I.T.エンジニアクラスが5チーム、ヒューマノイドロボットNAOやスマートグラス、プロジェクトショーマッピングなど、9月に導入した最新機器を活用したテーマがほとんどを占めた今回の発表会。

学生たちは緊張しながら今までの成果を堂々と発表していました。

出席者からは、「毎年プレゼン

力が確実に向かっている」発表

中のトラブルにもしっかりと対応で

きいて、「よかつた」「今回の研

究を次年度に引き継ぎ、発展させ

てほしい」といった意見や感想を

いただきました。

研究内容・発表を評価した結果

は次の通りです。

最優秀賞「飯野

八幡宮活性化ア

プリケーション

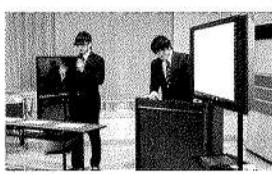
いいはちAR+

ロジエクション

マッピングでコ

ンカレ紹介 A

いわきコンピュータ・カレッジ



平成30年度 第16回 東日本ブロック合同卒業研究発表会

最優秀賞に輝く!

2月15日に、あおもりコン

ピュータ・カレッジ、北上コン

ピュータ・アカデミー、そして本

校の代表チームがいわき芸術文化

交流館アリオスに集結し合同卒業

研究発表会を行いました。この発

表会は東北にある3つの姉妹校が

持ち回りで務めており、いわき

での開催は3年ぶり。また、長崎県諫早市のいさはやコンピュー

タ・カレッジはビデオでの発表と

いう形で参加しました。

muses」「ロボットアプリケーションの開発」「NAO」といっしょ「この三チームは東日本ブロック合同卒業研究発表会へ出場しました。

「飯野八幡宮活性化ア

プリケーション」いいはちAR+

を開発しました。私は人と話す

ことが苦手なのですが、チーム

メンバーとコミュニケーションを

とりながら開発を進められたおか

げで、完成度の高いものを作り上

げることができました。また、校

内発表会、東日本ブロック合同卒

業研究発表会とともに、最優秀賞を

受賞することができました。

開発したものは、Google

e-Piayにリリースしてい

る。P-iayは「いいはちAR+」と検索して

是非ダウンロードしてみてください。

でいいはちAR+と検索して

でいいは

